

第1編 序論

第1章 計画策定の背景

1. 計画の趣旨／役割

▶今後10年間で進むべき方向性を示す町の最上位計画

2. 計画の構成／期間

▶基本構想・基本計画・実施計画で構成

▶令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間

3. 計画の全体像

▶総合戦略等と一体的に策定

第2章 本町を取り巻く現状

1. 時代の潮流

- ①人口減少・少子高齢化の進行
- ②多様化する災害リスクへの対応
- ③多分野へのSDGsの浸透
- ④デジタル技術の進展
- ⑤脱炭素社会への対応
- ⑥地域コミュニティの希薄化
- ⑦新しい生活様式への変化



亶理町ゼロカーボンシティ宣言

2. 本町の特徴

- ①山と川・里と海が広がる
自然資源が豊かな町
- ②利便性の高いアクセス環境
- ③先人たちが築き上げてきた
歴史あるまち
- ④人口減少と少子高齢化の進展
- ⑤地域資源を活かした
多様な産業構造
- ⑥住民と共に歩む
協働のまちづくり
- ⑦官民連携で取り組むまちづくり

第3章 まちの課題

課題①:次世代を担う人材を育成する子育て・教育環境の整備

- ▶子育てがしやすい環境や教育環境を整備し、今後の亶理町を担う貴重な人材の育成が必要
- ▶子育てや教育環境のみならず、出会い・結婚・妊娠・出産における支援といった部分についても、支援体制を強化することが求められている

課題②:地域産業の更なる発展と移住・定住に向けた働く場の創出

- ▶人口減少を最小限に食い止めていくには、多様な職業分野や環境を創出していくことが、町外流出の抑制や移住・定住の推進に寄与することから、本町の特徴を十分に活かした地域産業の更なる発展が必要

課題③:亶理町らしい暮らしに向けた住環境整備と公共交通の充実

- ▶少子高齢化・人口減少の傾向は今後も続くことと推計されていることを踏まえると、本町で暮らす全ての町民が、その亶理らしさを実感しながら、日常生活を幸せに送ることができる環境を整えていくことが必要

課題④:安全に暮らせるまちづくりに向けた防災・防犯体制の更なる充実

- ▶庁舎を防災拠点にするなど、様々な取り組みを実施しているが、近年の激甚化する災害への対応や多様化する犯罪を未然に防ぐことなど、日々の平穏な暮らしを脅かす災害や犯罪への対策が求められている

課題⑤:健康にいきいきと暮らすことができる身体・心づくり

- ▶糖尿病や高血圧の罹患者数の増加や低いがん検診の受診率、子どもの肥満率の上昇等、日常生活における改善や対策が可能な疾病等に関する問題もあり、健康意識の改善も求められている

課題⑥:全ての人が自分らしく暮らすことができる支援・体制の構築

- ▶高齢者夫婦世帯率や核家族世帯率が高く、今後単身高齢者の福祉・介護問題が顕在化する懸念があることや障がい者の就労支援や地域での生活体制を整備するなど、福祉に関する支援体制の充実が求められる

課題⑦:世代を超えた交流による地域コミュニティの再構築

- ▶近年の社会情勢の変化による地域行事や交流機会の減少、転入出といった町民の出入りが多いことなどにより、住民同士のつながりが希薄になっているが、今後様々なまちづくりを進めていく上での重要なまちの基盤であることから、地域コミュニティの再構築による強固な地域基盤の確立が求められている

課題⑧:財政の健全化と多様化するニーズに対応する施設の維持・管理

- ▶大幅な公共施設の集約・統合や収益化による維持管理などといった体制そのものの見直しを早急に進めていくことが必要
- ▶震災復興に係る整備における鳥の海エリアなど、収益化が期待できる施設等も存在し、公共施設全体を見据えたマネジメントが必要

第2編 基本構想

1. 目指すべきまちの将来像

愛し、愛されるまち わたり



2. 基本理念

～愛とともに未来へ進化し続けられるまち～

亶理町は、“まち”を取り巻く“すべて”を愛し、“すべて”に愛されるまちを目指します。

この“愛”は、家族や友人、隣人との絆を深めるだけでなく、地域社会全体のつながりを強化し、誰もが安心して暮らせる環境を創出する基盤となります。

すべての人々が、自他への“愛”を持つことで、立場や世代を超えた結束につながり、シビックプライドを醸成することで、主体的にまちづくりに参画する基盤にもなります。

しかしながら、社会は常に変化し続けており、その変化を前向きに受け入れ、未来に向かっていく力は「愛する人や地域を守りたい」という思いから生まれます。

愛し、愛されるまちであり続けるため、“次の世代にも愛されるもの”を守り育てながら、多くの魅力が息づく“わたり”であるために、様々な挑戦を続け、進化していきます。

3. まちづくりの目標

子どもたちへの
“愛”情あふれる教育

- ▶教育環境
- ▶子育て環境
- ▶生涯学習（文化・芸術・スポーツ・文化財等）

経済活動における
“愛”の循環

- ▶産業全般
- ▶雇用・就労環境

環境への“愛”と
持続可能なまちづくり

- ▶生活基盤・公共交通
- ▶環境・公衆衛生
- ▶保健・医療体制

自他への“愛”で守る
安全なまちづくり

- ▶防災・防犯

自己“愛”を育む健康づくり

- ▶健康づくり

高齢者や障がい者等への
“愛”の支援

- ▶地域福祉
- ▶児童・高齢者・障がい者等福祉

地域“愛”にあふれる
コミュニティの形成

- ▶地域づくり

未来へ“愛”をつなぐ
行政運営の展開

- ▶行財政運営
- ▶公共施設管理
- ▶官民連携